

千葉支部 会議・講演・研究会・研修会 報告用紙

(実施予定／結果報告)

報告書作成者：山田 一

名 称	月例研修会	主 催	日本経営士会 千葉支部
日 時	平成 22 年 12 月 18 日 (土) 15 : 00 ~ 17 : 00	場 所	船橋市中央公民館
テーマ	研究会活動中間報告	講 師	若月英司会員、 大久保 篤会員 西村 豊会員
参加者氏名：若月英司、大久保 篤、林 堯夫、岩野邦久、西村 豊、鈴木伸一、山下恭司、上條靖芳、高野充昭、鈴木弘道、原 弘行、藤江隆平、山田 一(講師含む 13 名)			

本年最後の月例研修会は、支部の研究会であるコンサルティング研究会と農業・観光研究会の活動報告の発表の場とした。両研究会とも今迄にない新しい試みが行われており、その発表となった。

1. コンサルティング研究会

発表者： 若月英司会員、大久保 篤会員

① 活動状況

従来より地域中小企業の経営改善を目的とした研究を重ね、各商工会議所等との共催セミナーにより地域中小企業経営者等に提言してきた。今日の経済状況下にあつて、「間違った業績改善策」が経営改善の妨げになっている例を見ることが多い。このようなことから、今年度の新しい試みとして“真の経営改善”の提案を経営者・管理者が分かり易いようにした“間違いを直せば業績は改善する”を小冊子として纏め、県内の関係先に配布した。

② 小冊子「間違いを直せば業績は改善する」の要旨

- 「利益追求が会社に繁栄をもたらす」という間違い
- 「コストを削減すれば儲かる」という間違い
- 「まとめて処理すれば儲かる」という間違い
- 「原価割れの注文は受けない」という間違い
- 「すべての受注に即納すれば儲かる」という間違い

③ 小冊子の主な配布先

- 行政： 千葉県商工労働部、千葉県産業振興センター経営支援部及び同部船橋オフィス、市原市役所経済部
- 経済団体： 千葉県経営者協会、千葉県商工会議所連合会、千葉商工会議所、松戸商工会議所、市川商工会議所、市原商工会議所、船橋商工会議所、佐倉商工会議所、船橋金属工業団地協同組合、千葉県中小企業団体中央会、千葉県商工会連合会
- 企業： (株)東邦化学研究所、(株)日商グラビア、古河電工エコテック(株)、(株)アキテックアヅマ(株)、電気化学工業(株)千葉工場、福井電化工業(株)、(株)萬国、高六商事、津田化学、山惣熔断(株)

小冊子の配布先からは、大変好評を得ており、研究会のメンバーは意を強くした。

2. 農業・観光研究会

発表者： 西村 豊会員

① 2010 年度活動目標

- 千葉県農林水産部担い手支援課事業への応札
- 農商工連携支援コーディネータ養成講座の開催
- 環境ビジネスへの取組
- 千葉の魅力発信戦略策定（観光企画開発）

② 活動報告

- アグリトップランナー育成事業への応札

6月28日プレゼンテーション、結果は前回受注した「流通研究所」が落札、

- 中小企業応援センターへのアクセス

6月14日千葉県産業振興センターとの情報交換会実施

- 農商工連携支援コーディネータ養成講座の開催（3月20日—3月22日、10月11日）

結果は千葉支部修了者は11名であった。

- 全国中小企業団体中央会による農商工連携等人材育成事業の公募

日本経営士会では全国4ブロック8会場で開催、千葉支部は柏市の「さわやか県民プラザ」で実施し、千葉支部会員が講師を務めた。研修申込者38名、修了者24名。最終日のロールプレイング/グループワークの結果は、特別講師として招いた白井梨業組合長秋本享志（ミチユキ）氏に提出済み。提案内容を理事会等で検討してもらうよう依頼中である。

- 南房総地区に対する経営士としての地域貢献の模索

衆議院議員石田三示氏に面会の為、衆議院第一議員会館議員事務所を訪問。訪問者は鶴岡義明本部理事、鈴木伸一副支部長、山田 一副支部長の3名であった。訪問目的は、石田議員を通して千葉県の農業と観光の面から地域貢献の活動を申し出し、案件があれば声を掛けて頂きたい旨お願いした。とっかかりとして、石田議員が関与している芸能人加藤登紀子氏の経営する鴨川自然王国の紹介を依頼した。

③ 来年度の取組課題

- 農商工連携人材育成事業

今年度の経験を生かして、レベルアップしたセミナーの実施

- 南房総地区の農業・観光を手段に夷隅、館山、南房総、鴨川を中心にグリーンツーリズム、ブルーツーリズム、メディカルツーリズムによる町おこしの企画。

石田三示衆議院議員、秘書池田 勝氏、加藤登紀子氏（鴨川自然王国）、いすみ鉄道鳥塚 亮社長、千葉県経営者協会会員企業等との連携

- 環境ビジネスへの取組み

以 上

